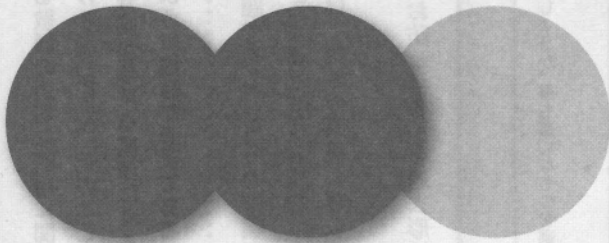


平成21年度 第1回

日本語検定

解答と解説

3級



- 一 …… ③
 二 …… ②
 三 …… ①
 四 …… ②

◆さまざまな場面における敬語の適切な使用に関する問題である。相手から恩恵を受ける場合には、そのことを適切に言い表す必要があるが、自分側が与える関係になる場合には、恩着せがましくならないように注意が必要である。

一 名詞の敬語表現の問題である。自分の原稿についての謙譲語として③「拙稿」が適切。①「上稿」という言い方はない。②「玉稿」は、相手の原稿の尊敬語である。

二 「訪ねる」の謙譲語「お訪ねする」を過去形にした、「お

訪ねした」をより丁寧に表現している、②「お訪ねいたしました」が適切。①「お訪ねなさいました」は、「おこなさる」という尊敬表現を用いているので不適切。③は、相手に恩恵を与える言い方である「さしあげる」を用いているのが不適切。

三 ①の「同行いたします」が、先生から頼まれたことへの返事として、適切な謙譲表現である。②「同行してさしあげます」は、相手に恩恵を与える言い方なので、先生に対して恩着せがましい言い方で不適切。また、③「同行させてもらいます」は、「もらいます」の部分に、先生に対する敬意が表れておらず不適切。

四 「ご披露いただきます」よりもさらに敬意が高く丁寧な謙譲表現になる、②「ご披露たまわります」が適切である。①は、「ご披露ちょうだいする」という言い方がない。③は、「ご披露して」が「ごする」という謙譲表現を用いており不適切。

問1

一～四の——部分を敬語を用いて言おうとするときどのような言い方が適切でしょうか。最も適切なものを選んで、番号で答えてください。

三級●2

一 「自分の論文の草稿を見もらった教授に礼状を出して」

先日は、原稿に関し、ご指導いただきましてありがとうございます。

- ① 上稿
 ② 玉稿
 ③ 拙稿

二 「用件があつて再訪した家で」

先日訪ねた戸沢ですが、ご主人はいらっしゃいますでしょうか。

- ① お訪ねなさいました
 ② お訪ねいたしました
 ③ お訪ねしてさしあげました

三 「顧問の先生から、練習試合の申し込みにいっしょに行ってくれないかと頼まれて」

はい、わたしでよろしければ同行します。

- ① 同行いたします
- ② 同行してさしあげます
- ③ 同行させてもらいます

四 「演劇クラブで先輩を招いて、メンバーの前で」

高見先輩に、全国演劇大会出場の体験談を披露してもらいます。

- ① ご披露くださいいたします
- ② ご披露たまわります
- ③ ご披露させていただきます



- 一 …… ②
- 二 …… ②
- 三 …… ③
- 四 …… ①

◆尊敬表現を取り上げた問題である。「見る」ご覧になる」のように、特定の動詞に対応する尊敬表現専用の言い方のほか、基本型として「お(ご)くになる」という形式の尊敬表現もある。それぞれの動詞に当てはまる言い方を使いこなせるようにすることが必要である。また、必要以上に尊敬表現を重ねてしまう過剰敬語にならないように注意しなければならない。

一 「乗り換える」に尊敬の助動詞「れる」を付けた、②「乗り換えられる」が適切。①「乗り換えます」は、「ます」

が丁寧語にすぎず、尊敬語が使われていない。③「お乗り換えになられる」は、尊敬語「お乗り換えになる」に、さらに「れる」を重ねた過剰敬語で不適切。

二 元のサ変動詞「連絡する」を名詞化し、「ご連絡ください」を用いた、②「ご連絡くださいませ」が、相手の行為を恩恵として感じる気持ちを込めた尊敬表現として適切。③「ご連絡してくださいまして」は、「ご連絡して」の部分が「ご」する」という謙讓語の形なので不適切。①「ご連絡されました」は、恩恵として受け取る意が表されていない。また、尊敬の助動詞「れる」が付いているので間違えやすいが、「ご連絡され」は③同様、謙讓語の形を含んでおり、誤った表現である。

問2

一〜四の——部分を敬語を用いて言おうとするとき、どのような言い方が適切でしょうか。最も適切なものを選んで、番号で答えてください。

三級●4

一 「地下鉄の車内で、乗り換え駅を尋ねられて」

梅田なら、次の駅で乗り換えるといいですよ。

- ① 乗り換えます
- ② 乗り換えられる
- ③ お乗り換えになられる

二 「面接を希望している企業の担当者、連絡をもらったことへの礼を述べて」

お忙しい中、連絡してくれてありがとうございます。

- ① ご連絡されました
- ② ご連絡くださいませ
- ③ ご連絡してくださいまして

三 「久しぶりに叔父に会って」

叔父さん、去年来たときよりもずっとお元気そうですね。

- ① お越しした
- ② お越しになられた
- ③ お越しになった

四 「隣人から、その人の母親の姿を見なかつたかと聞かれて」

おばあさんなら、さつき杉村のおばあさんと薬局の前で立ち話をしていましたよ。

- ① 立ち話をなさって
- ② 立ち話をなさられて
- ③ 立ち話をいたされて

三 「来る」の尊敬語の一つとして「お越しになる」があり、この形を用いた、③「お越しになつた」が適切である。「お越し」は、来ること、行くことの尊敬語として名詞で単独で用いられることもあるが、①の「お越しする」の形では用いない。また、②「お越しになられた」は、「お越しになる」に「れる」を重ねた過剰敬語。

四 おばあさんの「(立ち話を)する」という行為を、「(を)なさる」の形を用いて尊敬語にした、①「立ち話をなさつて」が適切である。②「立ち話をなさられて」は、「立ち話をなさる」に尊敬の助動詞「れる」を重ねた過剰敬語。③「立ち話をいたされて」は、謙讓語「いたす」に「れる」を付けた形で不適切。

次の会話文は、大学一年生の花田君たちが、パネルディスカッションの練習を、富士山登山鉄道の敷設をテーマとして行ったときのものです。ア～コの一部について、適切な言い方ならば○を、不適切ならば×を解答欄に記入してください。

【司会】 ア 来場の皆さん、ようこそおいでくださいました。こちらに ^イ並んでいらつしやるのが、本日のパネリストです。自己紹介をお願いします。

【花田】 花田です。今日は、登山鉄道敷設賛成の立場から、意見を ^ウ申し述べたいと思います。

【畑中】 畑中です。わたしは、敷設反対の立場に立って ^エ論じてさしあげようと思います。

【司会】 花田さん、賛成というのはどういう ^オ観点からのご意見でしょうか。

【花田】 鉄道が ^カございませんと、途中まで車で来る人が多く、排気ガスの害が大きいです。

【司会】 では、畑中さんの反対のご意見は。

【畑中】 敷設そのものによる自然破壊が大きく、環境への影響が計り知れません。会場に来て ^キおります皆さんも、そう ^ク思われませんか。

【花田】 いや、皆さん、敷設による破壊は一時的なもので、環境への影響というならば、排気ガスのほうが永続的だということをお考えしてください。

【司会】 さあ、皆さんは、どちらの意見に ^コご賛同しますでしょうか。

5 ● 三級

問 3 ● 解答

- ア …… × 力 …… ○
- イ …… ○ キ …… ×
- ウ …… ○ ク …… ○
- エ …… × ケ …… ×
- オ …… ○ コ …… ×

解説

◆会話の中で、敬語を適切に用いることができるかどうかを問う問題である。会話における敬語では、相手と自分の立場をふまえたうえで、流れに応じたふさわしい表現が即座に出てくるようにしなければならない。

ア 「来場(する)」という来場者の行為は尊敬語を用いて言うべきなので、「^コ来場の」とするのが適切。

イ 「いる」の尊敬語「いらつしやる」を用いていて適切。

ウ 「述べる」の謙讓表現として、「申し述べる」を用いて

いて適切。

エ 問題を論じるのは自分の立場からであるから、謙讓語とはいえ相手に恩恵を与える意味を表す「さしあげる」を付けるのは不適切。

オ 「観点」を尊敬語にする必要はなく、これで適切。すぐ後の「^コ意見」は、相手のものなので尊敬語にする。

カ 「ありません」を丁寧語にして言っているので適切。

キ 「おる」は「いる」の謙讓語なので、来場者に「おります」を使うのは不適切。「いらつしやる」などが適切。

ク 「思う」に、尊敬の助動詞「れる」を付けて尋ねた形で適切。

ケ 「おくする」という謙讓表現になつていて、来場者の「考える」という行為に用いるのは不適切。「お考え(ください)」でよい。

コ 「^コくる」の謙讓表現になつていて、来場者の「賛同する」という行為に用いるのは不適切。「^コ賛同なさいます」などが適切。



- 一 …… ×
- 二 …… ×
- 三 …… ○
- 四 …… ×
- 五 …… ×

◆上一段活用動詞(「いる」など)、下一段活用動詞(「出る」など)、カ行変格活用動詞(「くる」「一語のみ」に可能の助動詞を付ける場合、本来「られる」を付けるべきであるが、そこへ「れる」を付けてしまうのが、いわゆる「ら抜き言葉」である。将来、この形が認められることもありうるが、現在はまだ規範的な言い方ではない。五段活用動詞(「書く」など)は、「書く」が「書ける」となるように、可能動詞(五段活用動詞を下一段で活用させ、可能の意味をもたせる言い方)を用いるのが一般的である。サ行変格活用動詞(基本語は「する」)には、「〜できる」という別の動詞を用いる。

問4

一〜五のようなことを言うとき、——部分の言い方は適切でしょうか。適切である場合には○を、適切でない場合には×を解答欄に記入してください。

一 パーティーも中だるみのようなので、このあたりでうまく場を盛り上げれるといいのだが。

二 汗びっしょりだ。今すぐシャワーを浴びれば気持ちがいいだろうな。

三 三浦君に交渉を任せれば、相手方をちゃんと説得してこられるだろう。

四 江戸時代、大名行列が通り過ぎるときに、町民はそれを横切られなかったそうだ。

五 この講演会を東西大学と共催せれば、集まる聴衆の数も違ってくるよ。



……………

一 「盛り上げる」は、ガ行下一段活用動詞であり、可能の助動詞は「られる」を付けるので、「盛り上げられる」となる。問題文の「盛り上げれる」は、ら抜き言葉。

二 「浴びる」は、バ行上一段活用動詞であり、可能の助動詞は「られる」を付けるので、「浴びられれ(ば)」となる。問題文の「浴びれれ(ば)」は、ら抜き言葉。

三 「説得してくる」は、カ行変格活用動詞「くる(来る)」が、「〜てくる」という補助動詞の形で別の動詞に付いたものなので、未然形「こ」に可能の助動詞「られる」を付けた、問題文の「説得してこられる」で適切。

四 「横切る」は、ラ行五段活用動詞であり、可能動詞「横切れる」を用いた、「横切れ(なかった)」が適切。問題文の「横切れられ(なかった)」は、「横切れる」に、さらに可能の助動詞「られる」を接続させた形で不適切。

五 「共催する」は、サ行変格活用動詞であり、可能形は「共催できる」とするのが適切。問題文の「共催せられ(ば)」は、未然形「共催せ」に助動詞「れる」を接続させた形で不適切。



一～五のようなことを言うとき、——部分の言い方は適切でしょうか。適切である場合には○を、適切でない場合には×を解答欄に記入してください。

一 店の正面に自転車を置かれると通行の邪魔になるから、持ち主に言ってもっと右に寄せさせよう。

二 その方面の仕事は得意ですから、わたしに受け持たせてください。

三 先日の子ども会の肝試しでは、みんなを怖がらせ過ぎてしまったようだ。

四 社会に出ると、ミスをしたときでもなかなか言い訳させてはもらえないよ。

五 もっと人数を集めて机を運ばせないと、開始の時刻までに会場の準備が終わらない。

7●三級

問5 ● 解答

- 一 ……○
二 ……×
三 ……×
四 ……×
五 ……○

解説

◆使役の助動詞「せる」「させる」を動詞に付けるときは、それぞれの未然形に、

・五段活用動詞／サ行変格活用動詞…せる

・上一段活用動詞／下一段活用動詞／カ行変格活用動詞…させる

を接続させる。いわゆる「さ入れ言葉」とは、五段活用動詞とサ行変格活用動詞に「させる」を付けてしまった言い方のことである。特に、「〜てもらおう」「〜ていただく」「〜てくださる」のような表現と結び付いて起こることが多い。

一 「寄せる」は、サ行下一段活用動詞であり、使役の助動詞は「させる」を付けるので、問題文の「寄せさせ(よう)」で適切。

二 「受け持つ」は、タ行五段活用動詞であり、使役の助動詞は「せる」を付けるので、「受け持たせ(て)」となる。問題文の「受け持たさせ(て)」は、さ入れ言葉。

三 「怖がる」は、形容詞「怖い」の語幹に、「いかにもそのように感じる」という意味の動詞を作る接尾語「がる」を付加した、ラ行五段活用動詞である。したがって、使役の助動詞は「せる」を付けるので、「怖がらせ(過ぎて)」となる。問題文の「怖がらせ(過ぎて)」は、さ入れ言葉。

四 「言い訳する」は、サ行変格活用動詞であり、使役の助動詞は「せる」を付けるので、「言い訳させ(て)」となる。この場合の「さ」は、「する」の未然形である。「言い訳させ(て)」は、さ入れ言葉。

五 「運ぶ」は、バ行五段活用動詞であり、使役の助動詞は「せる」を付けるので、問題文の「運ばせ(ない)」で適切。

- 一 …… ②
- 二 …… ①
- 三 …… ②
- 四 …… ③
- 五 …… ②
- 六 …… ②

◆熟語どうしの関係として重要な《類義語》と《対義語》をまとめて扱った問題である。

一 「尋常」は、特別ではなく、普通、なみであるという意味の言葉で、②「通常」が類義語になる。①「恒常」は、一定で変化がないこと。③「日常」は、ふだん、つねいごろという意味なので類義語にはならない。

二 「貢献」は、ある物事のために力を尽くして役に立つことで、①「寄与」が類義語になる。②「寄付」は、団体などの他者に対して無償で金品を贈ること。③「寄進」

問6

【一】に記されている言葉に対して、【二】～【三】は意味の最も類似した語(類義語)を、【四】～【六】は対照的な意味を表す語(対義語)を選んで、番号で答えてください。

三級●8

《類義語》

一 【尋常】

- 【1】恒常
- 【2】通常
- 【3】日常

二 【貢献】

- 【1】寄与
- 【2】寄付
- 【3】寄進

三 【利発】

- 【1】機転
- 【2】聡明
- 【3】多感

《対義語》

四 【共有】

- 【1】固有
- 【2】私有
- 【3】専有

五 【閑静】

- 【1】物騒
- 【2】喧騒
- 【3】狂騒

六 【輕蔑】

- 【1】共感
- 【2】尊敬
- 【3】同情

は、信仰の対象である寺社などに対して金品を贈ることを意味する。

三 「利発」は、賢い様子であることを言う言葉で、②「聡明」が類義語になる。「聡」は耳がよく聞こえる意味で、「明」は目がよく見える意味を表す。①「機転」は、状況に応じた、素早く適切な心の働きを表す言葉で、多く「機転が利く」という使い方をする。③「多感」は、感受性が強く、小さなことにも感じやすいことを言い、「多感な年ごろ」などと使う。

四 「共有」は、一つの物を、複数の人または団体が共同で所有すること。その対義語となるのは、単独での所有を意味する、③「専有」である。①「固有」は、もともと持っていること、またそのものだけに限ってあることを表す。②「私有」は、個人や私的な団体が所有していることを表し、「公有」などが対義語になる。

五 「閑静」は、環境や場所などがもの静かなことを言う形容動詞なので、人の声や物音で騒がしいことを意味する、②「喧騒」が対義語となる。①「物騒」は、何が起こるか分からず、危険な様子を表す。③「狂騒」は、常軌を逸した大騒ぎをいう名詞であり、対義語ではない。

六 「輕蔑」は、相手を劣ったものとしてばかにすること。相手を優れたものとして尊び、敬う意味の、②「尊敬」が対義語になる。①「共感」は、他人の意見や感情をそのとおりだと感じることを、③「同情」は、他人の苦しみや悲しみを、その身になって思いやることで、ともに対義語には当たらない。

一〜四のそれぞれについて、「」に記されている二つの言葉の関係と同じ関係になる組み合わせを一つ選んで、番号を答えてください。ご自身の言葉が後になつていくかということにも注意してください。

一 御社——小社

- ① 高評——酷評
- ② 前略——草々
- ③ 貴誌——弊誌
- ④ 駄文——悪文

二 道路——国道

- ① 加湿器——電気器具
- ② 換気扇——除湿器
- ③ 調理器具——炊飯器
- ④ 裁縫——ミシン

三 首謀者——張本人

- ① 近臣——大臣
- ② 重臣——家臣
- ③ 逆臣——賊臣
- ④ 旧臣——忠臣

四 功罪——功績

- ① 収入——支出
- ② 難易——困難
- ③ 需要——供給
- ④ 運命——宿命

問7 ● 解答

- 一 …… ③
- 二 …… ③
- 三 …… ③
- 四 …… ②

解説

◆【一】内に示されている二語の関係は次のようになる。

◎ある事柄について、相手側のことを言う場合の尊称と、自分側のことを言う場合の謙称

◎ある物事と、それに含まれるものを指す言葉（上位語と下位語）

◎ある言葉と、それに似た意味を表す言葉（類義語）

◎対になる意味を表す漢字で構成される熟語と、その一方を表す言葉

一 「御社」は、相手側を敬い、その会社を高めて言う尊称であり、「小社」は、自分側の会社をへりくだって言う謙称である。同じ関係になっているのは③で、「貴誌」が相手側の

雑誌に対する尊称で、「弊誌」が自分側の雑誌に対する謙称である。①の「高評」は、評判が高いことを表すほか、相手の批評に対する尊称としても用いられるが、厳しく批評する意味の「酷評」は、謙称としては用いられない。②の「前略」と「草々」は、手紙の冒頭と末尾に記す対応した語で、それぞれ、時候のあいさつなどの形式的な文言を省略する断りと、つまり書きを詫びる気持ちを表す。④の「駄文」と「悪文」は、自分の文章の謙称としても使うのに対し、「悪文」にはそのような用法はない。

二 「道路」の一種が「国道」であり、ある物事と、それに含まれるものを指す言葉（上位語と下位語）という関係になっている。同じ関係になるのが③で、「調理器具」の一種が「炊飯器」である。①の「加湿器」は、「電気器具」の一種であるが、順序が逆。②の「換気扇」と「除湿器」は、ともに器具に含まれるという関係。④は、「裁縫」をするのに「ミシン」を使うという、行為とそれに用いるものという関係である。

三 「首謀者」は、中心となって悪事や陰謀などを企てる人のことで、事件を起こすもとなった人を表す「張本人」と類義語の関係である。これと同じ関係になっているのは③で、「逆臣」と「賊臣」はともに、主君にそむく家臣、また謀反を起こした家臣のこと。①の「近臣」は、主君のすぐそばに仕える家臣のこと。②の「重臣」は、重要な職務についている家臣のこと。④の「旧臣」は、古くからの家臣、また以前仕えていた家臣のことで、「忠臣」は、主君に忠義を尽くす家臣のこと。②④の二語はいずれも家臣を表す言葉であるが、類義語の関係にはなっていない。

四 「功罪」は、手柄と過ち、あるいは「功績」と「罪過」の意味を表し、「功」と「罪」は対義的である。すなわち、「功罪」と「功績」は、対義的な漢字が組み合わさった熟語と、その一方を表す言葉という関係である。同じ関係なのは②で、「難易」（難しさと易しさ）の一方を表すのが「困難」である。①の「収入」と「支出」、③の「需要」と「供給」は、それぞれ対義語の関係。④の「運命」と「宿命」は、同じ「命」の字が使われている類義語の関係である。

- 一 … ②
二 … ③
三 … ③
四 … ①

◆間違えやすい表現、近ごろ誤用の目立つ言葉を取り上げた問題である。

②「ほどよく」が、程度を表す言葉で、ちょうどよい程度だという意味になるので適切。①「ほどなく」は、たいした時間のたたないうちに、もうすぐという意味。③「ほど近く」は、あまり遠くない、距離や時間がそれほど隔たっていない様子を表す。

二人に何かを贈る場合によく使われる、③「心ばかり」

問8

一〜四のようなことを言うとき、() に入る言い方として最も適切なものを選んで、番号で答えてください。

三級 ● 10

一 父が作ったカレーは、こくと辛さが () 調和していて、家族には好評だ。

- [① ほどなく ② ほどよく ③ ほど近く]

二 () の品です。どうぞお納めください。

- [① 心配り ② 心遣い ③ 心ばかり]

三 最後に皆様のご健勝をお祈りしつつ () ことにいたします。

- [① 筆を折る ② 筆を染める ③ 筆を擱く]

四 () ことを伺いますが、お母様のご病状はいかがですか。

- [① 立ち入った ② 立ち至った ③ 立ち後れた]



が適切。気持ちばかりの、という意味でへりくだって言う言葉である。①「心配り」は、気配り、配慮のこと、②「心遣い」は、相手のために細かく気を遣うことであるが、ともに贈る品について使う言葉ではない。

三 手紙などの結びの文で使われるのが、③「筆を擱く」である。文章をここで止めるという意味で用いられる言葉で、これが適切。①「筆を折る」は、作家などが文筆活動をやめることを表す。「筆を断つ」ともいう。②「筆を染める」は、初めて書くこと、または執筆にとりかかるとをいう。

四 ①「立ち入った(こと)」が適切。「立ち入る」は、物事に深く関与することで、問題文の場合には、家族ではない者が聞いてはいけなかもしれないが、という気持ちが入り込められている。②の「立ち至る」は、物事がある(重大な)事態になることをいう。③の「立ち後れる」は、物事の着手が遅れたり、時機を失ってしまったたりすること。

一〜四の()に入る言葉として最も適切なものを選んで、番号で答えてください。

一 地球温暖化の影響は、南極にまで()してきた。

- 〔 ①普及 ②波及 ③追及 〕

二 哲学は、本来、あらゆる学問を()しているものなのだ。

- 〔 ①包含 ②含有 ③含蓄 〕

三 手紙だけでは詳しい事情が伝わらないだろうから、先方に会って、()で説明したほうがいいと思う。

- 〔 ①口頭 ②口上 ③口承 〕

四 新任の先生への子どもたちの質問は、次から次へと()なく続いた。

- 〔 ①際限 ②限界 ③極限 〕

11 ● 三級

問 9 ● 解答

- 一 …… ②
二 …… ①
三 …… ①
四 …… ①

解説

◆同じ漢字が含まれている熟語の選択の問題である。同じ漢字を含むために、意味のうえで共通するところがある。文意に沿った適切な言葉を選ぶことが必要となる。

一 影響が次から次へと遠くにまで及ぶことを、②「波及(する)」という。①「普及」は、物品や考え方などが広く行き渡ること、影響の場合には用いない。③「追及」は、事件の責任などをどこまでも追いつめることをいう。

二 あるものが、他のものを内に包み込んでいることを、

①「包含(する)」という。したがって、①が適切である。
②「含有」は、物質の成分を表す場合などに用い、「銅の含有率」などと使う。③「含蓄」は、言葉などに含まれている深い意味や味わいのこと。

三 ①「口頭」は、文書によつてではなく、直接口で述べて伝えることを表すので、これが適切である。②「口上」は、口で述べる型どおりのあいさつのことをいう。③「口承」は、口から口へと語り伝えられること。民話などを「口承文学」という。

四 ①「際限」は、限り、はてのことで、下に打ち消しの語を伴って「際限がない」などとよく使われる。これが適切である。②「限界」は、これ以上はないというぎりぎりのところをいう。「体力の限界」などと用いる。③「極限」は、物事の限度、限界のこと。「極限状態」などと用いる。

- 一 …… ②
二 …… ③
三 …… ①

◆日常よく耳にしたり、また、実際に使ったりしていながら、意味を取り違えやすい言葉を扱った問題である。言葉の正しい意味を確認し、間違った使い方や他の言葉と混同した使い方をしないようにしたい。

一 【水入り】…相撲で組み合ったまま勝負がつかず長時間たつたとき、勝負を一時中断して休ませること。そこから、休みを経て勝負や会合などを再開する場合に、「水入り」という言葉を使う。この用法として②が適切。
①は、「水入らず」との混同による誤り。③は、「水を

問10

一～三の見出しに掲げた言葉を最も適切に使っているのはどの文でしょうか。番号で教えてください。

三 ● 12

一 【水入り】

- ① 久しぶりに帰ってきたのだから、今日は、親子水入りで食事をしよう。
② この問題については水入りにして、少し頭を休めてから議論を再開しよう。
③ こんなに盛り上がっているときに、そんな水入りのようなことを言わないでほしい。

二 【ピンからキリまで】

- ① 昨夜は、ピンからキリまでずっと小説を読みふけていた。
② この雑誌は、ピンからキリまで幅広い読者に支持されている。
③ 漫画にも作品の質はピンからキリまであって、ひとまとめに論じるわけにはいかない。

三 【動転する】

- ① 祖母逝去の知らせに動転して、受話器を落としてしまった。
② 少年期には父が日本じゅうを動転していたので、転校が数え切れないほどだった。
③ この難しい状態を何とか良い方向に動転させて、最終的な成功に持ち込みたいものだ。

さす」の意味で用いた誤り。

二 【ピンからキリまで】…「ピン」が初めまたは最上等、「キリ」が終わりまたは最下等のことをいう。カルタやさいころの目の数え方から来ていると言われている。選択肢のうち、③が適切な使い方。作品の質が最上等のものから最下等のものまである、という意味になる。①は、時間の幅を指して言おうとしているが、そのような場合に使うことはない。また、②のように「幅広い読者」を形容する場合には不適切。

三 【動転する】…非常に驚き慌てることで、「気が動転する」という用い方が多いが、「動転」でも同じ意味になる。ここでは、①が適切に用いている。②は、「転々として」などの誤用。③は、「転換させて」「展開させて」などの誤用。



一〜五の太字で表した言葉は、①〜⑩のどれかと結び付いて慣用句になります。結び付く動詞を選んで、①〜⑩の番号で答えてください。一つの動詞は、一回しか使えないこととします。また、特定の動詞と結び付いた——部分の言い方が表す意味を、①〜⑩の番号で答えてください。

一 選手の交替が裏目に。

二 人の発言の揚げ足を。

三 事がうまく運んで悦に。

四 言い分が通らずに小鼻を。

五 名演技が喝采を。

- 一 …… ② ・ ⑫
- 二 …… ⑥ ・ ⑪
- 三 …… ① ・ ⑮
- 四 …… ⑩ ・ ⑭
- 五 …… ⑤ ・ ⑬

問 11 ● 解答

解説

◆「裏目」などの言葉は、特定の言葉と結び付いて、慣用句となる場合が多い。その結び付く動詞を判別し、かつ、その全体としての意味を問う問題である。

一 【裏目に出る】…「裏目」は、さいころで狙った目の裏側の目ということ、**「裏目に出る」**は、結果が狙いと逆になってしまったような場合に言う。「裏目が出る」ではないので、助詞にも注意が必要。

二 【揚げ足を取る】…「揚げ足」は、相撲や柔道などで、

- ① 入る ② 出る ③ 打つ ④ 舞う
- ⑤ 博す ⑥ 取る ⑦ すくう ⑧ もらう
- ⑨ 広げる ⑩ ふくらます

- ① 人の言葉じりをとらえて非難したりからかったりすること
- ② 良かれと思っていたことが反対の結果を招くこと
- ③ 声や拍手による賞賛を獲得すること
- ④ 不満そうにしている様子のこと
- ⑤ 思うとおりになって満足している様子のこと

13 ● 三級

技をかけようとして宙に浮き上がった足のこと。そこから派生して、「揚げ足を取る」は、相手の言葉じりをつかまえて難癖をつけるような意味となる。

三 【悦に入る】…「悦」は、うれしがること、喜ぶことで、「悦に入る」は、思いどおりになって喜ぶことを表すときに用いる。この場合には「入る」とは言わない。

四 【小鼻をふくらます】…「小鼻」は、鼻柱の左右のふくらんだところ。「鼻翼」とも言う。「小鼻をふくらます」は、不満そうな様子を見せることを言う。

五 【喝采を博す】…「喝采」は、手をたたいたり大声をあげたりしてほめそやすことで、それを得ることを「喝采を博す(博する)」と言う。「喝采を浴びる」という表現もあるが、⑥「取る」や、⑧「もらう」は用いない。



② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑧ ⑨ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭

◆漢字の使い分け・送り仮名・仮名遣いの誤りなどが含まれている。送り仮名については、「常用漢字表」（昭和五十六年内閣告示）および「送り仮名の付け方」（昭和四十八年内閣告示）を、仮名遣いについては、「現代仮名遣い」（昭和六十一年内閣告示）を基準としている。

①【相違】…違いのことで、適切な表記。

②【明きらかに】…「明らかに」が正しい表記。

③【準序】…「順序」が正しい表記。

④【簡単に】…適切な表記。

⑤【手直した】…適切な表記。

⑥【一件】…ちよつと見てという意味なので、「一見」が適切な表記。

⑦【十分に】…適切な表記。

⑧【同音異義語】…同じ音で異なる意味の言葉ということなので、「議」は、「意味」を表す「義」が正しく、「同音異義語」が正しい表記。

⑨【縦に】…「たて」は、「縦」が正しい表記。「縦」は「もみ」と読む、マツ科の常緑樹のことである。

⑩【字づめ】…「字」と「づめ（詰め）」が合わさった語で、適切な表記。

⑪【予白】…印字されていない空白の部分ということで、「余白」が正しい表記。

⑫【統一観】…見る人に統一されていると感じさせるといふことなので、「統一感」が適切な表記。

⑬【試みて】…適切な表記。

問12

次の文章は、パソコンで文章を作るとききの注意点をメモしたものです。漢字・送り仮名・仮名遣いなどについての誤りがいくつかありました。不適切なものを

からすべて選んで、番号で答えてください。

三級 ● 14

● 文章を作る段階での注意

思考を文字で表現したものが文章である。手書きであろうとパソコンであろうと、そのことに相違はないが、文章を作るときに、パソコンを使うか手書きにするかによって、書き進めたり推敲したりする方法は明きらかに違ってくる。

パソコンで文章を作る場合には、考えたことをとりあえず打ち込んでみて、後から文章を直したり、内容を整理したり、準序を整えたりすることが簡単にできる。ただし、手直した文章は、一件整っているようでも、直したことで前後に思わぬ影響を与える場合があるので、手書きの場合と同じように十分に推敲する必要がある。また、パソコンの場合は、同音異義語や同訓異字の変換ミスに、特に注意しなければならない。

● 印刷文書にするときの注意

- 用紙の大きさは？ 縦に使うのか、横に使うのか？
- 基本の文字の大きさと書体、字づめ、行数、天地左右の予白などは、パソコンの基本設定でよいのか、それとも、自分で設定するのか？
- 自分で設定する場合には、「見やすく」「読みやすく」「統一観を持たせる」などの配慮を基本的な考え方として、次の点に注意する。
 - ・あまり字が小さくならないようにし、いくつかの大きさを試みてから設定する。
 - ・書体は、あまり風変わりなものは避ける。また、多くても2、3種類にとどめる。
 - ・字間は、空け過ぎない。
 - ・行間は、おうざっぱにいえば、文字の大きさの半分程度にするのが適当である。

- ① 相違 ② 明らかに ③ 準序 ④ 簡単に
 ⑤ 手直した ⑥ 一件 ⑦ 十分に ⑧ 同音異議語
 ⑨ 縦に ⑩ 字づめ ⑪ 予白 ⑫ 統一観
 ⑬ 試みて ⑭ 風変わり ⑮ 避ける ⑯ おうぎっぱに



15 ● 三級

⑭ 【風変わり】…様子がふつうと変わっていることなど、適切な表記。

⑮ 【避ける】…適切な表記。

⑯ 【おうぎっぱに】…オ列（オ段）の長音は、オ列の仮名に「う」を添えるのが原則だが、歴史的仮名遣いでオ列の仮名に「ほ」または「を」が続くものは、オ列の仮名に「お」を添えて書くという例外がある。問題箇所は歴史的仮名遣いで「おほぎっぱ」なので、「おおぎっぱ」とするのが適切な表記。



- 一：往診
- 二：既成（事実化）
- 三：甘受
- 四：口論
- 五：試案

◆パソコンでの入力では、手書きでは考えられない誤りが残ってしまうことがある。特に、同じ読み方をする言葉（同音異義語）の誤りに注意が必要である。

一 医師が依頼されるのは診察だから、「往診」が正しい。「往信」は、返事を求めて出す通信のこと。

二 既に現実の存在になっているというところで、「既成」事実化が適切。「既製」は、すでにでき上がっている製品のことを意味する。

三 苦勞や面倒をやむをえないものとして受け入れるのは「甘受」で、「あまんじて受ける」という意味。「感受」は、印象などを心で感じて受け止めること。

四 「公論」は、世間一般の意見のこと。「口論」は口げんかのことで、こちらが適切。

五 「試案」は、原案として仮に考えた案のことをいい、「私案」は、個人としての提案をいう。ここは「当委員会の」とあることから、「試案」が正しい書き表し方である。

問13

一～五には、パソコンで入力したときの変換ミスがあります。誤っている言葉の正しい書き表し方を楷書で解答欄に記入してください。

三級●16

- 一 都市部においては、医師が往信を依頼されることは少なくなっている。
- 二 市民の反対運動を無視して工事を既製事実化しようとするやり方には、納得できない。
- 三 多くの非正規雇用者が、劣悪な労働条件を感受しなければならぬ状況に陥っている。
- 四 昨晩は進路をめぐって父と公論になり、今朝も険悪な雰囲気のまま過ごした。
- 五 先般ご提示したのは、あくまで当委員会の私案ですから、広くご意見を募りたいと思います。

- 一 ア…① イ…②
 二 ア…② イ…①
 三 ア…① イ…①
 四 ア…① イ…③
 五 ア…② イ…①

◆ 同音の漢字に関する使い分けの問題である。

一 アは、本番に強いのは「度胸」がよいということなので、①が適切。イは、人に詰め寄るようなときに出す声なので、怒りがこもっているという意味で、②を用いた「怒気を含む」となる。

二 アは、大きな仕事をしてみたくなるような気持ちとして、②を用いた「氣宇壮大」が適切。「氣宇」は、物事に対する心のもち方や氣構えのこと。イは、アゲハチョ

ウがさなぎから羽の生えた成虫になることをいうので、①を用いた「羽化」が適切。

三 アは、表現法として、①を用いた「擬人法」が適切。人間でないものについて、「空が笑っている」などと人間のことのように表現すること。イは、動物が身を守るために、形や色を他の物に似せることで、やはり①を用いて「擬態」が適切。

四 アは、トラックなどに積むのに適切な量のことなので、①を用いて「積載量」となる。イは、変化に富んで、にぎやかなさまをいう「多彩」となるので、③が正答。

五 アは、作家や批評家など、文芸に携わる人たちの社会のこととして、②を用いた「文壇」が適切。イは、決着をつけるために相手と交渉することとして、①を用いた「談判」が適切。そのときに相手を脅かすような強い態度に出ることを「強面」という。

問15

一〜五のア・イについて、()に入る漢字として適切なものを、それぞれの「から選んで、番号で答えてください。適切なものがないときは、③を選んでください。同じ番号を二回使ってもかまいません。

【から選んで、番号で答えて

三級●18

一 ①度 ②怒 ③(適切なものがない)

ア 木村さんは()胸がよいから、練習よりも本番のほうがうまい演技をする。
 イ 金沢さんがわたしに詰め寄ったときの声は、()気を含んでいた。

二 ①羽 ②宇 ③(適切なものがない)

ア 海を見ていたら氣()壮大になって、大きな仕事ができるような気がしてきた。
 イ 育てていたアゲハチョウのさなぎが()化した。

三 ①擬 ②機 ③(適切なものがない)

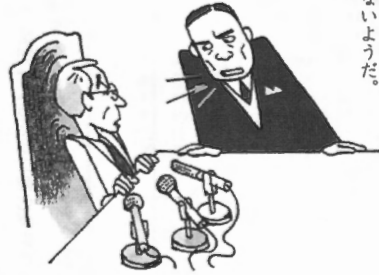
ア 自然界の物事を()人法で表現するのは、この作家が得意とする手法だ。
 イ 昆虫には、()態によって身を守る行動が多く見られる。

四【①載 ②祭 ③(適切なものがない)】

ア 積()量を超える荷物を積んだトラックが、事故を起こした。
イ 昨日の国際会議では、実に多()な顔ぶれが一同に会した。

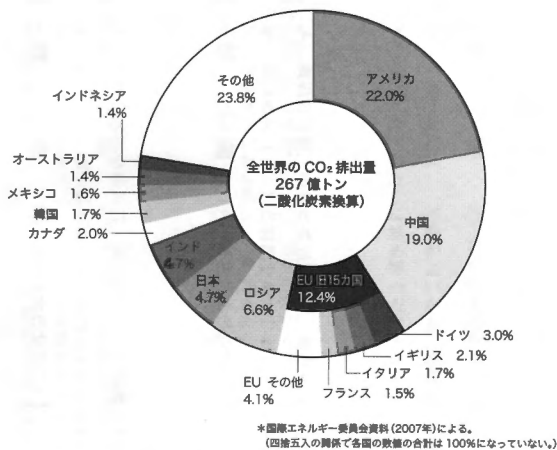
五【①談 ②壇 ③(適切なものがない)】

ア 近ごろ文()の話題が乏しいのは、出版不況のせいだろうか。
イ 最近の二世、三世の政治家には、強面()判するような人は少ないようだ。

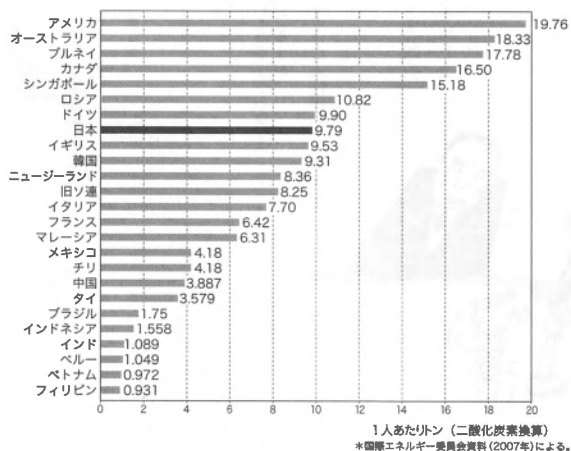


- 一 …… ①
 二 …… ③
 三 …… ①
 四 …… ①

(1) 二酸化炭素の国別排出量 (2005年)



(2) 国別一人あたり二酸化炭素排出量 (2005年)



問16

左の文章は、二〇〇五年の主要国における、「二酸化炭素の国別排出量」および「国別一人あたり二酸化炭素排出量」に関する資料(グラフ)を見て、Aさんが書いたものです。それぞれの問いに番号で答えてください。

◆ 関連する二つのグラフから読み取れることを記した文章を題材とした問題である。それぞれの小問は、グラフから読み取った事柄の正誤を問うていいるのではなく、読み取ったことをどう表現するのが適切であるかを問うている。文章が、グラフのどこに着目し、そこから何を言おうとしているかを理解する「読解力」が必要であり、その上に立って正答を考へることになる。

ここでは、主要国の「二酸化炭素の国別排出量」と「国別一人あたり二酸化炭素排出量」二つのグラフを対象として書かれた文章を取り上げている。文章の中では、エネルギー消費

効率を、国内総生産と人口とのかかりで考えているが、実際には国土面積なども要素としてかかわってくる。

① ①〜④それぞれの意味は次のようになる。

① 匹敵…同程度であること、対等の相手になること

② 比肩…肩を並べること、優劣のないこと

③ 酷似…違いが分からないほどよく似ていること

④ 均衡…釣り合いがとれていること

①②は意味的に類似し、「事務処理の正確さにおいて、彼に匹敵/比肩する者はいない」のように、能力的なことの優劣に関しては同様に使うことができる。しかし、「一月分の給料に匹敵する金額」のような場合には、「匹敵」は使えるが「比肩する金額」とは言いにくい。ここでは二酸化炭素の排出量が同程度であることを言おうとしているので、①「匹敵」が適切である。

二 国民一人あたりの国内総生産がアメリカ一六に対して中国一、国民一人あたりの二酸化炭素排出量がアメリカ五に対して中国一ということ、エネルギー消費効率は一六対五でアメリカのほうが良いということになる。この段落では、以上のような数値から、アメリカと中国とのエネルギー消費効率の相対的な関係を述べようとしている。①「比べるまでもなく」は、先のような数値の関係をふまえないと分からないので当てはまらない。②「比べようにも」は、比べるための手段や方法がないといった内容につながっていく場合の言い方。④「比べても」は、中国がその他の国との比較で良く、その中国よりアメリカ

各国が二酸化炭素排出量抑制対策にどの程度取り組んでいるか、言い換えると、エネルギーをどのくらい効率的に消費しているかを考えるにあたっては、各国の経済規模や人口などを考慮しなければならないはずである。

グラフ(1)で、総排出量で第1位になっているアメリカと、それにほぼ(ア)する第2位の中国について、国内総生産と人口を調べてみた。すると、アメリカの国内総生産は中国の約4倍、人口は中国の約4分の1であることが分かった。つまり、国民一人あたりの国内総生産は、アメリカ16に対して中国1ということになる。

一方、グラフ(2)を見ると、一人あたりの二酸化炭素排出量は、アメリカが中国の約5倍であることが分かる。これを大きくとらえると、アメリカのエネルギー消費効率は、中国に(イ)かなり良いということになる。

同様にして、アメリカと日本とを比較してみる。調べてみると、アメリカの人口は日本の約2.5倍、国内総生産は約3倍であった。つまり、国民一人あたりの国内総生産は、アメリカ6に対して日本5ということになる。

一方、一人あたりの二酸化炭素排出量は、アメリカは日本の約2倍である。(ウ)、日本のエネルギー消費効率は、アメリカより(エ)ということになる。

一 アに入る言葉として適切なものはどれでしょうか。

- ① 匹敵 ② 比肩 ③ 酷似 ④ 均衡

二 イに入る言い方として適切なものはどれでしょうか。

- ① 比べるまでもなく ② 比べようにも
③ 比べると ④ 比べても

三 ウに入る言葉として適切なものはどれでしょうか。

- ① したがって ② にもかかわらず
③ しかしながら ④ とりもなおさず

四 エに入る言い方として適切なものはどれでしょうか。

- ① 相対的に良い ② 相対的に悪い
③ 絶対的に良い ④ 絶対的に悪い

力のほうが良いといった文脈で使う言い方。まず、総排出量で一位、二位のアメリカと中国を比較しようとしており、単に③「比べると」と言うのが適切。

三 第四、第五段落では、同様にして、アメリカと日本とを比べようとしている。国民一人あたりの国内総生産はアメリカ六に対して日本五、国民一人あたりの二酸化炭素排出量はアメリカ二に対して日本一である。ということとは、エネルギー消費効率は、三対五で日本のほうが良いということになる。最終の文は、この数値的な関係をふまえて、「日本のエネルギー消費効率は、アメリカより(良い)」と言おうとしているので、前述の内容から以下に述べるのが当然の結果となるという意味の接続語、①「したがって」が適切である。

四 三での解説どおり、アメリカに比較して、エネルギー消費効率は日本のほうが良いことになる。エネルギー消費効率に関して、中国よりアメリカ、アメリカより日本のほうが良いというのは相対的關係である。したがって、①「相対的に良い」が当てはまる。



一 … ①

二 … ③

三 … ②

四 … ③

五 … ②

六 … ①

七 … ③

八 … ①

◆ これまでに出てきた内容を含む総合問題である。

一 文末表現の問題である。②「ととる」、③「とみる」は、「ある辞書によれば、記録とは」を受ける形としては不適切。①「とある」が適切で、文章などを参照し、引用するときによく用いる表現である。

二 文脈に沿った適切な語を選ぶ問題である。後に、「これまでの自分の人生を綴っているものだからである」という説明があるので、自分の人生を歴史に見立てて言っ

ている、③「史料」が適切である。②「蓄積」も、前からの流れとしては入らないこともないが、単に「蓄積」だけでは、何が蓄積されたものか、その内容が分からない。①「記録」は、後に「…のみならず、記録一般についても当てはまる」とあるので、ここでは不適切。なお、歴史の資料は一般に「史料」と書くことが多い。

三 これも、文脈に沿った適切な語を選ぶ問題であるが、話題のまとまりを把握していないといけない。ここは、「これらのことから…とまとめることができる」とあるように、ここまでの文章をまとめていく。この文章のはじめの辞書による説明で「将来のために」とあり、この「将来」を受けた、②「後日」が適切である。「後日」に役立てる「が、将来のために」に対応しているわけである。記録が、①「文章」を目的としているという記述はなく、また、ここまでは主に自分の人生とのかかわりで記述しているの、③「社会」もふさわしくない。

四 叙述に用いる表現の問題である。ここは、注意力と観察力を発揮して事実を落ちなくとらえることが必要だと、言っているの、(「見落とす」) やすい」の意味になるものが入る。①「かねる」は、「しなくてはならない」が「できない」という意味の接尾語で、「お引き受けし兼ねる」などと用いる。これや、②「かねた」では、そもそも見落とさない(なかつた)ことになつてしまい、不適切。③「かねない」はその否定表現で、「そうならないとは限らない」の意味。ここでは「見落とさないとは限

★ これまでの問題に出てきた内容を含む総合問題です。

問17

次の文章は、「記録」について書かれたものです。この文章について、後の質問に番号で答えてください。

記録とは何か。ある辞書によれば、記録とは「将来のために物事を書き記しておくこと。また、その書いたもの」(ア)。私たちの周りには、どのような記録があるだろうか。日記も記録の一つであり、授業のときに取るノートも記録の一つである。また、生徒会の各種委員会の会議録や、部活動の日誌などもあげられる。

このほか、自分が誕生してからの、自分に関するさまざまな記録がある。出生記録、母子手帳から始まって、幼稚園や学校でのさまざまな記録類、アルバム、音声や映像による記録などである。これらの中で、ある人が日記について述べた「自分自身にとっての重要な(イ)である」という言葉の意味するところが、日記についてのみならず、記録一般についても当てはまることに気づく。これまでの自分の人生を綴っているものだからである。

これらのことから、何かを記録することについては、ある事実や現象、ある出来事、またそれらの変化を、書く(写す、録音する)という行為によって、(ウ)に役立てることである、とまとめることができる。

そうした記録する事柄を正確に書き留めるためには、物事を正しくとらえる力を持たなければならない。それにはまず注意力と観察力を最大限に発揮して、事実を落ちなくとらえることが必要である。記録のための技術として、まず第一に、このことがあげられる。つまり、うっかりすることを見落とす(エ)現象を落とさずとらえるような目をもつことである。第二は、事実と意見や感想を区別するということである。記録に意見や感想が必要とされる場合は多くない。(オ)、記録には事実を書くことが求められる。意見や感想として書かれる書き手の、判断や推測は、多くの場合、正確な記録の妨げになる。第三は、事実の全体像を正しくつかむことである。事実を伝えるためには、過不足のない情報が必要である。新聞記事などを書く際に重視される、「5つのWと1つのH」という視点で、全体像をつかむようにしたい。

以上のように、事実を落ちなくとらえる、それを意見や感想と区別する、集めた事実を材料にして5W1Hの骨格で構成する、これが記録の技術の基本である。

一 アに入る表現として最も適切なものはどれでしょうか。

- 〔 ① とある ② ところ ③ とみる 〕

二 イに入る言葉として最も適切なものはどれでしょうか。

- 〔 ① 記録 ② 蓄積 ③ 史料 〕

三 ウに入る言葉として最も適切なものはどれでしょうか。

- 〔 ① 文章 ② 後日 ③ 社会 〕

四 エに入る表現として最も適切なものはどれでしょうか。

- 〔 ① かねる ② かねた ③ かねない 〕

五 オに入る言葉として最も適切なものはどれでしょうか。

- 〔 ① なぜなら ② むしろ ③ したがって 〕

六 カの書き方は適切でしょうか。適切な場合は①を、適切でない場合は②・③から適切なものを選んでください。

- 〔 ① (適切である) ② 余談 ③ 与談 〕

七 キの「それ」はどのようなことを指しているでしょうか。

- 〔 ① 事実の全体像 ② 事実を落ちなくとらえること ③ とらえた事実 〕

八 この文章の題名として最も適切なものはどれでしょうか。

- 〔 ① 記録を考える ② 記録とは何か ③ 記録の技術 〕

23 ● 三級

らない・下手をすると見落としてしまいそうな」という意味として、これが適切である。

五 接続詞の問題である。この前後は、記録に「必要とされる」ものについて、前では否定的なもの(意見や感想)、後では肯定的なもの(事実)をあげている。このように、前より後のほうで「より適切だ」という判断を示す」という働きをするのは、②「むしろ」である。①「なぜなら」は原因や理由を示すときの言い方、③「したがって」は当然の結果として以降の事柄が導けるというときの言い方で、ともに文章の流れから不自然である。

六 すぐ下の「推測」と並列されているので、結果が出る前に前もって判断する意味の「予断」で適切。したがって、①になる。②「余談」は、本筋を離れた余計な話のこと。③「与談」は現代語にはない。

七 指示語の問題である。指しているものを考えるときに、後への続き方を見る必要がある。すると、「それを意見や感想と区別する」となっているので、③「とらえた事実」を指していることが分かる。②「事実を落ちなくとらえること」は、「...と区別する」に合わない。また、この段落では、前の段落で述べている三つの点を簡潔にまとめて言うおとしており、①「事実の全体像」は、三つ目の「集めた事実を材料にして...構成する」に対応する内容なので不適切である。

八 この文章は、前半の「記録とは何か」ということと、後半の「記録の技術」ということから成っている。空欄ウのある段落と、最後の段落が、それぞれのまとめになっている。②や③では、文章の一部しか表しておらず、全体の題名としては不適切。これらを合わせてまとめた、①「記録を考える」が適切である。

